

これまでの取り組み成果

緊急通信指令システムの運用を開始することができ、消防救急無線デジタル化整備に向けての基盤が整った。

消防車両の整備及び装備の充実、災害対応の研修及び集団救急総合訓練を通しスキルアップを図った。消防団の分団名を市民に分かりやすい分団名に改称し、地域にとって親しみのある小学校名や地区名に変更した。

サンドーム福井にて「さばえ防災フェア」を開催し、ステージイベント、フロアイベント、様々な体験ブースを設け、防災・災害に対する心構えを学び、会場は多数（3,000名以上）の来場者で賑わった。

救急救命士を適正配置し、救急蘇生法のガイドライン改正に伴う講習会を開催し、普通救命講習受講者増を図り、救急救命体制の充実を図った。

防火対象物の立入検査年度計画を立て、検査・違反是正の強化を図り予防行政の推進を図った。

今後の課題

消防車両の整備及び装備力の充実強化、職団員のスキルの向上、災害に対する初動体制の強化が必要である。

消防団活動をイベント等でPRして団員の確保に結び付け、災害対応力の充実強化を図らなければならない。

救急救命士のスキルアップ研修、救急蘇生法新ガイドラインの普及啓発と普通救命講習会の増を図り、救急救命体制の充実が必要である。

住宅用火災警報器全世帯設置とメンテナンスの啓発活動を行い、防火安全対策の推進を図ることが必要である。

今後の施策展開

消防車両及び消防施設を整備し、消防体制の充実強化を図る。

消防団の処遇の改善と団員確保のため、消防団協力事業制度の活用やイベントを通して広報活動行う。

救急講習カリキュラムの変更に伴い普通救命講習会を増やし、新設救急入門コースを小学校高学年児童対象に実施し、救急救命体制の底辺拡大を目指す。

防火対象物の立入検査を強化し、実態を把握、違反是正と出火防止対策を図る。

住宅用火災警報器の設置率100%を目指し、未設置宅、未調査宅への個別訪問を実施する。

【総合評価】

A 政策目標に向けて高いレベルで推移している。

B 政策目標に向けて概ね順調であるが、一部努力を要する。

C 政策目標に向けてあまり順調ではなく、一層の努力が必要である。

D 政策目標の達成には程遠く、全体的な努力が必要である。

〈H24 総合評価：B〉